令和8年10月23日（金）発行

高浜町

議会だより

168号

CONTENTS　9月定例会

▶P03　トピックス
POINT
30年ぶりに議員報酬 増額
高浜町議会議員報酬条例 改正
施行:2027年4月30日

▶P03　物価高騰対策11月に15,000円配布
「赤ふん坊や通貨」「はぴコイン」選択制
▶P15　高浜児童センター解体など、
一般質問に9名が登壇
▶P17　政治倫理調査特別委員会の報告　POINT
▶P20　議会報告会の開催について（4地区）



未来へつながる、高浜の新しい公園「ソラノワ」
青葉山と若狭湾を望む、建築と自然と遊びが
一体になった公園です。

議会だより
アーカイブはこちら

議会だより
表紙応募はこちら

発行・編集/〒919-2292 福井県大飯郡高浜町議会広報特別委員会 TEL.0770-72-7710

TOPICS

高浜公園「ソラノワ」グランドオープン



9月6日（日）、多くの子どもや保護者のみなさんが見守る中、午前10時からオープニングセレモニーが開催された。

こども園cocokaraの園児たちが手作りした横断幕の除幕とともに、来賓・関係者によるテープカットが行われ、公園が開園した。

その後、公園設計者の隈研吾さんと高校生たちによるトークセッションや、スタンプラリー、つみき遊び、キッチンカーなど、新しく広い芝生広場やアオバテントで、思い思いに楽しんでいた。

高浜公園は、ランドスケープ（風景や景観）が遊具になる公園として整備された。広い芝生広場を中心に、白い屋根のシンボル「アオバテント」、公園をぐるりとゆるやかに巻き上げる「サカミチ」、芝生のふくらみをくぐり抜ける短いトンネル「ドウクツ」の三つのエリアに分かれている。

幼児や体の不自由な子どもにもやさしく、安全に配慮した遊具が設置されている。

世代を超えて住民が集う「憩いの場」、子どもたちの「居場所」となることを願っている。





（上尾徳郎）

「高浜町議会議員報酬条例改正」全員賛成で可決
～30年ぶりに改正・なり手不足解消へ～

議案第52号「高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について」議員全員賛成で可決した。

1996年以来30年間、報酬改正がなく、2011年には議員年金が廃止され、議員活動の対価が低く、兼業への負担が重くなり、なり手不足に拍車がかかっていた。

そのような中、前回2023年の町議会議員選挙は20年ぶりに無投票となり、町政の課題や政策を論じる場がなくなり、地方自治の根幹に関わる民意の信任を得る機会が失われた。

多様な住民や若い世代の意見を反映し、立候補しやすい環境整備のために、2025年3月には報酬等審議会への諮問依頼を決議し、今回の答申を得て、報酬条例改正となったものである。

今後とも町政発展の為、より町民の皆様のお声を議会に届け、議員活動の見える化を推進し、活発な議会活動を行っていく。

■報酬改正の経緯

1996年12月　前回改正
2011年6月　議員年金廃止
2023年4月　無投票改選
　6月～議会改革特別委員会で報酬、定数議論開始
2025年3月　報酬改正審議依頼決議
2025年10月　議員定数削減条例改正（14→12人）
2026年6月　報酬等審議会答申
2026年9月　条例改正
2027年4月　改選時より改正予定

月額報酬			
	改正前	改正後	増分
議員	23万5千円	30万円	6万5千円
委員長（新設）	23万5千円	31万円	6万5千円
副議長	24万5千円	32万円	7万5千円
議長	30万円	38万3千円	8万3千円

※施行：2027年4月30日

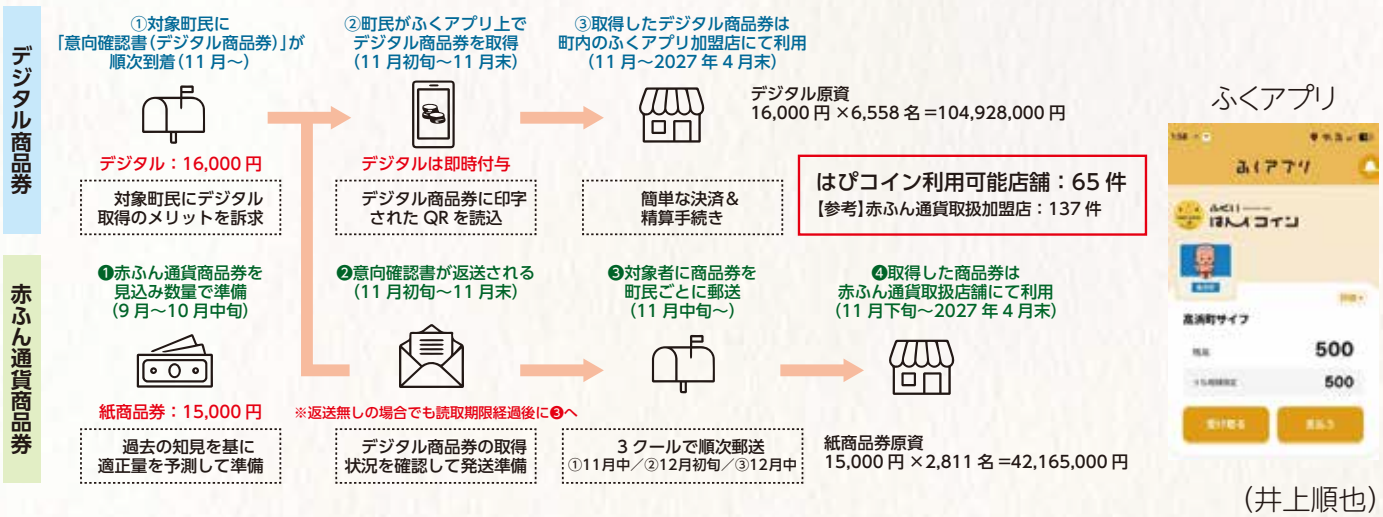
（井上順也）

物価高騰対策支援事業の増額はなぜか
生活圧迫状況から経済支援額を増額

令和8年度当初予算では、長引く物価高騰に迅速に対応すべく、町民1人当たり赤ふん坊や通貨1万円分配布の予算としたが、8月の全国の消費者物価指数は前年同月比1.9%の上昇で、さらに生活を圧迫している状況から、当初予算で確保した1万円分の支援に加算する形で、赤ふん坊や通貨の場合は1万5000円分を、地域デジタル通貨「はぴコイン」の場合は1万6000円分を配布することとした。

町内で使用可能な地域商品券赤ふん坊や通貨と地域デジタル通貨「はぴコイン」を選択制とし、各世帯の意向に合わせて年末に向けた生活を支え、効果が確実に町内事業者へ波及する仕組みとしている。

議会として、今後とも町内経済を注視し、適宜、効果的な対策を要望していく。



（井上順也）

令和７年度 決算監査結果報告

代表監査委員／松 宮 和 則　　監査委員／上 尾 徳 郎

■一般会計の決算概要

▶歳入総額

165億6016万4186円（対前年度比4.1%増）

収入の主体である町税は歳入の45.0%で、前年度比2.2%増加し、74億5628万2638円となった。

町税の約84%を占める固定資産税が、前年度より1.3%増加したことが大きな要因であった。

▶歳出総額

155億1593万4223円（対前年度比5.1%増）

歳出額の多かった順に、総務費が前年度比3.8%減少。積立事業の減少に伴うものである。民生費は前年度比8.9%増加。社会福祉施設整備事業は大きく減少したが、支援給付や給付事業などは増額となった。土木費は前年度比22.8%増加。災害制圧道路新設事業、宮ノ内線改良事業、高浜公園事業などが継続された。衛生費は前年度比8.0%増加。水道事業特別会計繰り出し事業があった。

教育費は前年度比0.8%増加。和田小学校長寿命化改修工事（校舎棟）が実施された。農林水産費は前年度比2.9%減少。消防費は前年度比3.4%増加。商工費は前年度比9.5%増加。労働費は前年度比1.2%減少。

令和8年度への繰越明許事業は15事業あり、国の補正予算への対応や関連する工事の遅延などの事情を確認している。



■特別会計の決算概要

▶歳入総額

22億9776万5002円（対前年度比5.5%減）

▶歳出総額

22億4259万3374円（対前年度比5.6%減）

国民健康保険特別会計の実質収支額は1161万3012円（前年度比86.0%増）の黒字。介護保険特別会計の実質収支は3193万3050円（前年度比26.4%減）の黒字。

■公営企業会計

上水道事業特別会計は純損失674万6782円。収益の改善が出来ない結果であった。管路の現状は管路経年化率が49.01%、今後も継続した更新業務を願う。上水道センターの更新や管路更新、耐震化、諸設備の更新など対策事業を前倒しで実施し、強靭で安心・安全な水道事業の確立を願う。

下水道事業特別会計は純利益1424万4820円。主な収入の使用料は人口減少による減少が想定される。また、設備機器の修繕費の増加など費用の増加が想定される。

将来にわたり住民生活や経済活動に欠く事のできないインフラであり、継続・安定した事業運営を願う。

■町財政全般の状況

自主財源比率が60.6%。財政の自由度を示す経常収支比率は64.3%。財政力指数の単年度値は1.936だが直近3か年平均は1.791で、普通交付税は不交付であった。

■令和7年度工事監査

原子力災害制圧道路新設、高浜町社会福祉施設いぶき、高浜公園ソラノワの3件の各事業について、書類審査及び現地確認を行った。

■まとめ

高浜町では、令和3年度末の人口が1万人を切り、令和7年度末には9352人となった。

「第4次総合計画」では、2030年の人口目標値を9100人に設定し、「かがやく・くるむ・つなぐ」をキーワードに、13分野38の重点施策に取り組んでいる。

また、本総合計画の10年後に当たる2040年には、8300人の人口維持を目指すとしている。令和8年3月には、「高浜町総合計画」後期実施計画が策定され、基本計画で掲げる各分野の「めざす姿」の実現に向けて、分野ごとの「施策」の具現化に当たって重要となる「主軸となる事業」が策定されている。着実な推進・実行に尽力していただくようにお願いする。

令和７年度 一般会計歳入歳出決算を認定

～町のお金の使い方を見てみよう～

TOPICS 認定

歳入総額

165億6016万円

（前年度比＋4.1％）

主な歳入

町　税 74億5628万円
（歳入の45％　前年度比＋2.2％）

国庫支出金 42億610万円
（歳入の25.4％　前年度比＋20.2％）
※電源立地地域対策交付金 24億326万円含む

県支出金 17億5594万円
（歳入の10.6％　前年度比＋7.2％）

歳出総額

155億1593万円

（前年度比＋5.1％）

主な歳出

総務費 35億8004万円
（前年度比－3.8％）

民生費 35億4659万円
（前年度比＋8.9％）

土木費 20億8112万円
（前年度比＋22.8％）

衛生費 19億5143万円
（前年度比＋8.0％）

教育費 15億4762万円
（前年度比＋0.8％）

前年度と比べて増えた主な経費

土木費（＋22.8％）
三山線や宮ノ内線の道路改良、河川整備、ソラノワ整備など

民生費（＋8.9％）
障害者自立支援給付、児童手当、後期高齢者医療関係など

商工費（＋9.5％）
水難救助艇購入、海水浴場施設修繕、町内産品の域外流通など

収支の状況

歳入と歳出の差引額
10億4423万円

実質収支額
7億3151万円の黒字
（前年度比 ＋44.8％）



和田小学校長寿命化改修
校舎棟の長寿命化改修を実施。



高浜公園ソラノワ整備
町民が集う憩いの場として整備。



農業・漁業基盤整備
圃場整備や干ばつ対策、上瀬漁港の防波堤改修などを実施。

■決算について

令和7年度の一般会計は、歳入・歳出いずれも前年度より増加した。町民の暮らしに関わるさまざまな事業が実施され、まちの基盤整備や生活支援、子育てや地域活性化などの取組が進められている。

詳細は、別ページの「委員会報告」「監査報告」を確認。

広報たかはま11月号

（河島浩彦）

7月臨時会において全会一致で決定した案件

議案番号	議案名	関連ページ
【契約案件】		
議案第43号	社会資本整備総合交付金事業　和田地区雨水対策　第１号工事　請負契約について	

9月定例会において全会一致で決定した案件

議案番号	議案名	関連ページ
【補正予算案件】		
議案第44号	令和8年度高浜町一般会計補正予算（第２号）について	P3・7・8
議案第45号	令和8年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について	
議案第46号	令和8年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第１号）について	
議案第47号	令和8年度高浜町下水道事業特別会計補正予算（第１号）について	P9
【決算認定】		
認定第１号	令和7年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定について	P4・5・8
認定第２号	令和7年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	P4・10
認定第３号	令和7年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	P4・10
認定第４号	令和7年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	P4
認定第５号	令和7年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	P4
認定第６号	令和7年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	P4・9
認定第７号	令和7年度高浜町道路用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	P4・9
認定第８号	令和7年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	P4・9
認定第９号	令和7年度高浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	P4・9
【条例案件】		
議案第48号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	
議案第49号	情報通信技術の効果的な活用のための規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	P9
議案第50号	社会保険診療報酬支払基金法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例について	
議案第51号	高浜町印鑑条例の一部を改正する条例について	
議案第52号	高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例について	P3・7・9
議案第53号	高浜町一般職の職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定について	P9
議案第54号	高浜町町税条例の一部を改正する条例について	P9
【契約案件】		
議案第56号	内浦基幹集落センター解体工事請負契約について	P9
議案第57号	上瀬漁港（日引）防波堤改修工事請負契約について	
議案第58号	まちの駅長寿命化改修工事請負契約について	P9
議案第60号	文化会館屋上防水等改修工事請負契約について	
議案第61号	高浜小学校体育館空調設備設置工事（機械工事）請負契約について	P10
議案第62号	青郷公民館空調設備改修工事請負契約について	
【人事案件】		
同意第２号	教育委員会委員の任命について	
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	



Q 採決ってなに?
A 議長が議員に議案に対して賛成、反対の意思表示を求め、集計することよ。

9月定例会において賛否が分かれた案件

議案番号	議案名	議決結果	阪本	井上聡	河島	松岡	釣本	西野	井上順	大塚	上尾	廣瀬	井ノ元	磯部	小幡	関連ページ
【発議案件】																
議案第55号	高浜町児童センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決	○	○	×	○	×	○	○	▲	○	○	○	／	×	P7・10
議案第59号	地域福祉総合センター駐車場上屋・外構整備工事請負契約について	賛成多数可決	○	○	○	○	×	○	○	▲	○	○	○	／	○	P7・10

○…賛成　×…反対　△…棄権または退席　▲…欠席　除…除斥　　※議長等採決に参加しない議員は「／」となります

質疑＆討論

■社会資本整備総合交付金事業　和田地区雨水対策　第１号工事　請負契約
【議案第43号】

賛成討論　井上 順也

和田地区要望としての雨水対策、浸水対策であり、早急にスケジュールどおりに進めて頂きたい。

■令和8年度高浜町一般会計補正予算（第２号）
【議案第44号】

質疑：井上順也

「町内消費喚起及び物価高騰対策支援事業１億6384万2000円」の事業概要と、当初予算の物価高騰対策との関連について伺う。

回答：産業振興課長

８月の消費者物価指数は前年同期比1.9％の上昇で、さらに生活を圧迫している。
当初予算の町民一人１万円分の支援に加算し、赤ふん坊や通貨の場合は1万5千円分、デジタル通貨はぴコインの場合は1万6千円分を配布する。

■高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
【議案第52号】

賛成討論　井上 順也

30年間議員報酬の改定がなされていない。前回改選が無投票となった。魅力ある議会にし、議員のなり手不足を解消する必要があるため。

■高浜町児童センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
【議案第55号】

反対討論　小幡 憲仁

児童センターが担ってきた役割や機能を検証し、廃止後の代替策を明確にするとともに利用する児童や保護者の意見を十分に聞き、その機能が引き継がれることを確認した上で廃止を判断すべき。

賛成討論　上尾 徳郎

一般質問でも議論があり、平成29年に「廃止検討」に位置付けられた後も議論する中で、代替機能が整備され、「子ども・子育て会議」においても了承されている。

反対討論　河島 浩彦

老朽化した建物の解体には反対しない。しかし、見守りや健全育成、人員配置などの代替体制が十分に確立されていない。
利用者への説明と意見聴取を行った上で判断すべきであり、現段階での条例改正に反対する。

■地域福祉総合センター駐車場上屋・外構整備工事請負契約
【議案第59号】

反対討論　釣本 音次

瑞祥苑は町民からまだ使えると言う意見があり、豪華すぎ、入札経緯、工期大幅遅れ等理解不能で反対してきた。



「児童館・児童センター」のあり方について議論すべきでは

予算決算常任委員会 委員長 井上 順也

令和8年度 高浜町一般会計補正予算第2号 新規事業

議案第44号

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ11億5485万4千円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ155億97万3千円とするもの

①児童センター解体撤去工事実施設計業務委託料331万1千円

Q 三松センターの児童館建て替えも含め、児童館・児童センター全体のあり方について保護者の意見を聞くなど事前に議論をすべきだったのでは。

A 町として子どもを真ん中に育てる姿勢に変わりはなく、必要に応じて条例や体制の空白を埋めていく。



高浜児童センター

②自主防災組織育成事業600万円

Q 自主防災組織育成事業の概要と要望内容は。

A 家庭防災機能向上事業（1件上限5000円補助）で、要望は防災バッグ、非常食、消火器、懐中電灯など。

令和7年度高浜町 一般会計予算歳入歳出決算認定

認定第1号

令和7年度の一般会計は、歳入総額が165億6016万4186円(対前年度比4.1%増)、歳出総額が155億1593万4223円(同5.1%増)で、歳入歳出差引額は10億4422万9963円となり、翌年度へ繰越すべき財源3億1271万5800円を差し引いた実質収支額は7億3151万4163円の黒字となったものである。

Q 産業団地候補地の適地選定調査業務委託料（363万円）」の調査成果と候補地の詳細は。

A 日本立地センターに委託し、1次候補地8箇所（31項目で評価）から2次候補地2箇所に絞り込みした。

Q 旧若宮園をモデルエリアとするスマートタウン推進事業の進捗状況および今後のスケジュールは。

A 令和7年度は事業者ヒアリングを実施。今年度は舞鶴高専や町内宅建業者等と意見交換しながら基本構想を策定し、来年度に測量設計に入る予定。

Q 改修した旧教職員住宅への高専生の入居状況と具体的な活動内容は。



高浜町舞鶴高専学生用住宅（旧教職員住宅）

A 14部屋中12部屋（12名）が入居中。中学生向け講座の講師や地域施設の改修等で活躍している。

Q 上水道センター更新事業が遅れている理由と、今後のスケジュールは。

A 官民連携（PPP/DBO方式）等の導入検討に一定の時間が必要だった。

設計・建設・運営を一括委託するDBO方式の場合、2年程度（令和9～10年頃着工）かかる見込み。現在は基本設計まで完了している。



上水道センター

Q 城山周辺再整備事業（プレミアムリゾート構想等）の現状と課題・今後の方向性は。

A 建築資材高騰を踏まえ、部屋数・単価、コンベンション機能の取り扱い、補助金活用など運営面の収支バランスを協議中。

過度な町の負担とならないよう見極め、町にとって最も良い形を目指す。

Q B&G体育館の壁のアスベスト含有懸念・和式トイレ問題、中央体育館のエアコン設定温度（28℃）への対応は。

A アスベストは至急再確認する。トイレ改修や施設維持についても行政として安全・快適な環境を確保する視点で見直す。体育館クーラーは室温計を確認しながら臨機応変に温度を下げる運用を徹底する。



Q予算決算常任委員会ってなに?
A 予算議案、決算議案などを細かく審査などを行うところさ。

案件13件を慎重審議

総務産業常任委員会 委員長 井ノ元 康夫

【全員賛成で可決】

令和8年度高浜町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第47号

Q 道路整備に伴うマンホール等調整工事で、収入と支出の金額の違いについて。

A 工事費は528万円を計上しており、そのうち454万円は県の工事に伴う県負担金で賄う。不足する分は、下水道事業特別会計の留保資金で対応する。

情報通信技術の効果的な活用のための規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
議案第49号

Q 高浜町の業務の効率化や改善につながるメリットがあるのかまた、今後さらに改善できる点があるのか。

A これまで各営業所に専任することが求められていたが、改正後は他の営業所との兼任を認める内容となる。

高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
議案第52号

Q 答申が遅れた理由についての説明を。

A 審議の期限や進め方は審議会に委ねられている。議会から示された報酬額について十分に議論した上で、最終的に「適切」と判断したものであり、町としてその結果を重く受け止めている。

高浜町一般職の職員等の旅費に関する条例の全部を改正する条例の制定
議案第53号

Q 東京出張などで、新幹線ルートの利用では東海道、北陸のどちらを基準に清算するのか。

A そのルートを利用した合理的な理由があるかを確認する。途中下車して公務を行うなど、利用の妥当性が認められれば実際の経路を考慮する。

高浜町町税条例の一部を改正する条例
議案第54号

Q 固定資産税の免税点引き上げについて、国の法律で定められた基準に従うだけでなく、高浜町独自に免税点を引き上げることができるのか。

A 固定資産税には「わがまち特例」があり、地方税法などで定められた一定の基準・範囲内であれば、議会の議決を経て自治体独自に特例の割合などを定めることが可能であるが、免税点を引き上げに関しての特例はない。

内浦基幹集落センター解体工事請負契約
議案第56号

Q 工事期間中に通行止めなどの規制はあるのか。

A 工事中の通行止め規制は考えていない。

まちの駅長寿命化改修工事請負契約
議案第58号

Q 利用者が減少すれば改修費ばかりが増えることになるため、施設全体の利用のあり方を見直し、利用者を増やす取り組みが必要ではないのか。

A 「きなーれ」には独自の機能があり必要だという声があるため、既存施設を改修して長寿命化を図り、新たな機能も活用しながら、施設への来訪者や利用をさらに増やす方法を検討する。

令和7年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定
認定第6号

Q 販売実績の無い理由について。

A 問い合わせは6件ほどいただいた。
現在も検討されている方がおられる。昨今の住宅建築価格の上昇や金利の上昇が影響しているのではないかと考えている。

令和7年度高浜町道路用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定
認定第7号

Q 現在の事業の進捗率と、今後残っている整備箇所は。

A 全体の整備率は約76%となっている。令和8年度は、電柱の移設などを進めている。

令和7年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定
認定第8号

Q 有収水量が上がったが、その分析は。

A 漏水修繕による改善が大きいと考えている。また、有収率は漏水量だけでなく、町全体の使用水量にも左右される。

令和7年度高浜町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
認定第9号

Q 青戸の入り江に放流水は定期的に測定・確認しているのか。

A 基準をクリアしている。

議案第48号　地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について及び
議案第57号　上瀬漁港（日引）防波堤改修工事請負契約の一部変更については、討論なく全員賛成で可決



Q 総務産業常任委員会ってなに?
A 総務、産業振興、税務、建設整備、上下水道などに関する議案の審査を行うところよ。

令和８年度補正予算、令和７年度決算認定、契約案件、条例案件など13件を慎重審議

厚生文教常任委員会 委員長 松岡 茂和

【賛成多数で可決】

令和7年高浜町 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

認定第2号

Q 入院・療養給付費が減っているが、病院にかかる人減ったのか、それとも亡くなったのか。

A 国民健康保険だけを見るとそう見えるが、後期高齢者を含め、年齢階層別に見ると、後期高齢者医療費が上がっていることも考えられる。

令和7年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

認定第3号

Q 収入が減っているのは、患者が少ないことか、診療報酬が下がったことか。

A 院内処方から院外処方へ切り替えたことや、後期高齢者が減少したことによる。

Q 和田地区の患者がほかの医療機関へ行くなど、患者の流れや年代層はどうなのか。

A 和田診療所の年代層は、75歳以上が60%、若年層が25%である。患者層の変化としては、近くにファミリークリニックが開院し、小児患者の受診が多くなったことで、患者層が分かれた。

高浜町児童センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第55号

Q 児童センター解体論議は以前からあったが、行政は教育委員会や保護者、こども会議などと議論し、準備ができていたのか。子どもを守る体制ができていないのではないか。

A 子どもの居場所機能を移転できる施設整備の段階で用途を廃止し、解体すると議会で答弁している。いぶき、ソラノワの整備を受け、こども・子育て会議委員の承認を得ている。事業計画について委員からアンケートを取り、決定した。今後はヒアリングなどにより、ソフト面を改善する。

地域福祉センター駐車場上屋・外構整備工事請負契約

議案第59号

Q 職員駐車場の整備がないのはなぜか。利用する人が減ったのか。

A 一体整備の予定だったが、近隣からほこりに関する苦情が多く、早めに舗装することにして、2か所に分けて発注した。

Q 工事費用は当初額をわけての契約か。

A 南側は3102万円で発注済、本体正面は議案の1億2518万円で契約、合わせて1億5600万円になる予算額は2億4000万円計を計上しており、この中で屋根や構造の見直しも行った。

Q 具体的に当初イメージとの差はないのか。

A 駐車場前部分の屋根付きを、除雪等を考え駐輪場と車椅子車両だけにした。

Q 当初計画説明の予算時からの変更は本契約議案までに議会に説明し承認を得るべきではないか。

A 今後は事前協議する。今回の変更は急な物価高騰で事業費を抑えるために行った。

高浜小学校体育館空調設備設置工事（機械工事）請負契約

議案第61号

Q 入札不調の状況は。

A 1回目のエアコン設備工事を2回目の電機と機械に分けて入札し、応札があった。

Q 工期は年度末か。体育館は利用できるか。

A 物価高騰により資材の入荷に時間がかかると言われているが、年度内には完成させたい。体育館は全面閉鎖しない。最低限の運動エリアを確保し、学校と調整していく。

意見交換会

8月18日 地域包括支援センター職員と意見交換会を開催

『いぶき』において、介護主任、社会福祉士、看護師ら3名と介護、認知症予防、サロン、安否確認、成年後見制度、権利擁護、機関団体連携などについて、地域包括支援センターの役割と課題について意見交換を行った。

人口減少課題対策特別委員会

9月10日

「子育てママ」と意見交換会を「いぶき」で開催



町外から転入し、就学前の幼児を育てるお母さん3名から、高浜での育児体験から見える課題や子育て環境など、行政に対して多くの有意義な提案をいただいた。「育児サポートと産後の困難」「住宅事情と空き家」「働く環境と就労支援」などについて意見交換を行った。



Q 厚生文教常任委員会ってなに?
A 教育、保健、福祉などの議案などを細かく審査などを行うところさ。

議会運営委員会 委員長 井上 順也

議運工程表　住民対話型実施要領　住民フリートーク申込書

議会運営・定例会日程

9月定例会について、告示日、事前説明、質疑・一般質問の通告締切、委員会審査、最終日までの日程を確認・調整した。一般質問は9月14・15日、議案審査は16日、最終日は17日とし、一般質問の通告締切を9月2日に変更。質問順は9月3日午前8時45分からの議運で決定する。予算決算質疑シート等の締切は9月25日とし、予算委員会までの準備期間を確保することとした。

委員会構成・議会日程について

議員定数が14人から12人となることを踏まえ、常任委員会を各6人、予算決算常任委員会を11人とする方向で委員会条例を改正することを確認した。12月・3月定例会についても、委員会日程や予算・決算審査の時間を確保する観点から調整を進める。

議会報告会・住民フリートークについて

「議会出前報告会」を「議会報告会」、「議員と語ろう会」を「住民フリートーク」に改め、公務として実施する方向を確認。11月に4班・4会場で開催し、議会全体の活動を報告する。

実施要領案を9月11日に提示し、17日の全協で最終確認した。



視察・その他

東員町議会の視察受入れに向け、通年議会の検討経緯や導入を見送った理由等の説明資料を作成する。

議員報酬について、特別職報酬等審議会の答申や審議経過を町長に確認し、今後の議会対応を検討する。

8月17日（月）　三重県東員町議会　来町



三重県東員町議会と高浜町議会で、通年議会制度を中心とした議会改革について意見交換を行った。高浜町では、専決処分の抑制や議会機能の強化など通年議会のメリットを検討した一方、議員の負担増加、議会拘束時間、事務局体制や経費などを課題として、現時点での導入を見送った。今後は、年4回の定例会を基本に、臨時会や委員会を機動的に活用し、一般質問や政策提言、住民との対話など議会機能の充実を優先する。双方は、地域の実情に応じた議会改革を進め、今後も交流・研鑽を継続することを確認した。

7月10日（金）　兵庫県太子町　視察



今回の視察では、議会基本条例に基づく住民参加、議員間討議、広報広聴活動など、継続的な議会改革の取組について学んだ。特に「カフェトークたいし」による住民との対話や、外部有識者を活用した条例づくりが印象的であった。また、政治倫理条例についても、制定後の検証と見直しの重要性を認識した。高浜町議会においても、住民との対話を充実させ、条例を実効性のあるものとして継続的に検証・改善し、町民から信頼される開かれた議会づくりに努めたい。

7月10日（金）　京都府京丹波町　視察



今回の視察では、議会基本条例に基づく住民との意見交換や議員間討議など、条例を実際の議会活動に生かす取組について学んだ。また、政治倫理条例については、公平性・透明性を確保した審査体制と第三者の関与、議員研修や継続的な検証の重要性を認識した。高浜町議会においても、条例を形骸化させず、実効性のある運用と継続的な見直しを進め、町民から信頼される議会づくりに努めたい。



Q 議会運営委員会ってなに?
A 議会の円滑な運営を図るため設置されている委員会のことよ

ここが聞きたい!

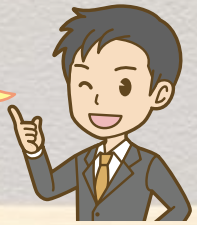
一般質問 Q&A

一般質問の記事は質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

阪本新也	1. 高浜町道路整備プログラム策定状況は
西野朋宏	1. 高レベル放射性廃棄物の最終処分の考えは 2. 渇水対策としての水源確保と水道DXを進める考えはないか
小幡憲仁	1. 公共建物の利用環境の保全について 2. 世界大会を契機に若狭和田ビーチの環境整備を 3. 文化財保存活用地域計画の策定を
井上聡美	1. 児童数ゼロ時代の内浦保育所の行方は 2. 国際大会を高浜の未来につなげるには
井上順也	1. 防災力向上のため地域防災マネージャーの配置はできないか 2. 町営住宅の高齢者の入居について
廣瀬とし子	1. 高浜児童センターについて 2. 不登校児童について
松岡茂和	1. 高浜町の危機管理体制はできているのか 2. 児童センター廃止による児童の居場所づくりについて
上尾徳郎	1. 将来を見据えた財政計画を 2. インフラ整備、道路・交通の分野について
釣本音次	1. 他市町と差別化できる青の松原の良さを再認識し高浜町の経済発展につなげるべきである 2. 賢明な財源の使い方について

一般質問要旨

一般質問って?
議員が高浜町の行政一般事務や将来に対する方針などについて、執行機関に質問することなんだ。





阪本 新也（さかもと しんや）

高浜町道路整備プログラム策定状況は

回答：西嶋町長

町民の安全・安心を最優先に道路整備を進める。

問 道路は、町民の生活や安全を支える重要な社会基盤である。

高浜町道路整備プログラムの策定状況と、今後10年間の整備方針について伺う。

建設 8月末に策定業務の委託契約を締結し、令和9年3月の策定完了を目標に進めている。

整備の優先順位は、交通量や利用状況、通学の安全、避難道路、防災・減災、道路施設の老朽化、地域間の連携、観光振興などを総合的に評価し、必要に応じて点数化するなど、客観的な基準で整理する。

概算事業費や国・県の補助金などの財源も検討し、実現性の高い計画を策定する。

また、福井県の道路整備プログラムと整合を図り、県と連携して道路ネットワークの整備を進める。

問 シンボルロード、若宮海岸線、南山手線などの進捗状況と、日引・上瀬地区の孤立対策について伺う。

建設 シンボルロードは用地関係の調査・協議を進め、若宮海岸線は令和8年度内の概略設計完成を目指す。

南山手線なども設計や地元協議を進めている。

また、上瀬から舞鶴市水ヶ浦へ抜ける道路については、避難道路確保の観点から、道路整備プログラムに位置付けていきたいと考えている。



南山手線（佐伎治踏切付近）



西野 朋宏（にしの ともひろ）

高レベル放射性廃棄物の最終処分の考えは

回答：西嶋町長

国・県・事業者と連携し、町民とともに課題に向き合う。

問 高レベル放射性廃棄物の最終処分は、原子力発電を利用してきた我が国全体の課題。

高浜町として町民の意見をどのように聞き、国や事業者、嶺南地域と連携して取り組んでいくのか。また、最終処分問題が長期化した場合の町への影響をどのように考えているのか伺う。

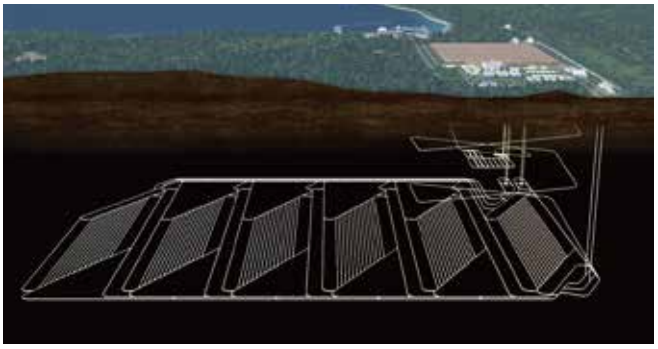
町長 最終処分問題は、原子力発電所立地自治体である高浜町にとっても、自らの問題として真摯に向き合うべき重要な課題と認識している。町民が安心して住み続けられるまちづくりを進めるとともに、国や事業者と情報共有・協議を行っていく。町民への情報提供や意見を聞く機会についても必要に応じて設けていく。また、嶺南地域の立地自治体とも課題を共有し、県や国、事業者への要望など、必要な取り組みを進めていく。

問 近年、渇水が続いており、特に農業用水の確保が課題となっている。

和田地区への井戸・ポンプ整備や、農業用水への計画的な投資、水位・水量などをデジタルで監視する水道DXを進める考えはないか伺う。

産振 水不足は農業経営や町民生活に影響する重要な課題であり、中長期的な対策が必要と認識している。和田地区の井戸整備については、地下水の状況や維持管理体制、農家負担などを考慮し、営農者と協議しながら検討する。

また、ため池や用水路の整備に加え、用水施設の自動化など、デジタル技術を活用した先進事例についても情報収集を進め、関係者と協議しながら取り組んでいく。



出典：NUMO(ニューモ)



小幡 憲仁（おばた のりひと）

老朽建物を放置せず、適切な修繕と予防保全を進めるべきでは

回答：西嶋町長

使う施設は快適に利用できる環境を整え、必要な修繕は行っていく。

問 B&G海洋センター体育館、郷土資料館、児童センターなどを現地確認したが、老朽化や利用環境の悪化が目立つ。

施設ごとの劣化状況、修繕履歴、今後の修繕予定などを「公共建物カルテ」として一元管理し、公表しては。

総務 統一的な形式で整理することは有効。施設情報の共有・一元化と、可能な範囲での公表を検討する。

◆世界大会を契機に若狭和田ビーチの環境整備を

問 ワールドマスターズゲームズ2027関西を契機に、老朽化した海岸沿いの遊歩道の修景や、観光インフラとしてWi-Fi環境を整備しては。

産振 遊歩道は大会までに改修する具体的な計画はないが、今後の整備の在り方を検討する。

大会期間中はスポットWi-Fiを点在させ、利用状況を踏まえて今後の整備を検討する。

◆文化財保存活用地域計画の策定を

問 祭礼や伝統行事、古文書、民俗資料など地域の歴史文化資産を次世代へ継承するため「文化財保存活用地域計画」を策定すべきでは。

教育 歴史文化の保存・活用に必要な計画であり、やる方向で準備を進めたい。





井上 聡美（いのうえ さとみ）

児童数ゼロ時代の内浦保育所の行方は

回答：西嶋町長

地域の皆さんと話し合いながら、方向を一緒に進めていきたい。

問 合同保育でどのような変化があったか。

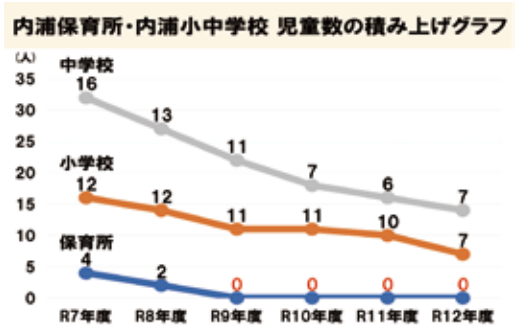
こども 同年代の友達と関わる機会が増え、協調性やコミュニケーション能力の育成、思いやりや自分の気持ちを調整する力、新しいことに挑戦する自立心の向上につながっている。

問 合同保育から内浦小学校に進学したことで、子どもに心理的な負担はなかったか。

こども 環境の変化による戸惑いもあると思うが、子どもには環境適応能力もある。学校・関係機関と協力しながら子育て環境を守っていく。

問 休止となった場合の維持費と職員体制は。

こども 定期的な巡回、点検、草刈りなど年間約80万円を見込む。保育士は他施設への配置転換、会計年度任用職員は勤務実績や本人の意向を確認しながら町の規定に基づき適切に対応する。



◆国際大会を高浜の未来につなげるには

問 高浜町の未来にどうつなげる考えなのか。

町長 大会を起点に国際ビーチとして高浜を発信し、サービスや利便性を高め、また来たいと思ってもらえるように機運を高めていく。

総政 海辺のまちづくり、交流人口の拡大、地域経済の活性化など地域に残るレガシーとして生かしていく。

問 大会までの準備、スケジュールは。

総政 実行委員会を中心に、町の魅力発信やおもてなしを含む受入体制の整備を進める。体験プログラムや交流機会の創出、交流拠点間などの移動手段も検討する。ボランティアは10月頃から募集し、外国語に対応できる人材含め40名確保する。





井上 順也（いのうえ じゅんや）

防災力向上のため地域防災マネジャーの配置はできないか

回答：西嶋町長

必要な人材と感じている。来て頂ける方があるなら検討していく。

◆高浜町の安全安心な防災対策について

問 町工事の労災、ミニ花火大会事故の町のかかわり方は。

防災 事故原因や再発防止策を確認し、工事事業者や関係団体に対し、安全管理の徹底を求めている。また、今後の工事やイベントにおいて、リスクの事前確認、安全対策の状況の確認など事故の未然防止に努めていく。

町長 花火大会は観光協会だけのことであるということは全く考えてない。一緒になって全ての情報を共有しながら、それぞれ一緒になって判断をしている。

問 能登半島地震時に問題となった安土山トイレの改修時期は。

町長 トイレの水、場所の検討に時間がかかっている。

計画ができれば速やかに対応する。

問 生活道路の法定速度が60→30㎞になった。対応は。

防災 町民の皆様、観光客の方々にも理解していただく広報に努めていく。

◆町営住宅の高齢者の入居について

問 緑ヶ丘住宅は1階が全て独居の方用として改修されており、1階の空き部屋がない。夫婦共に足が悪いご高齢の方等が低層階に入れない実態がある。高齢夫婦の低層階入居希望対応ができないか。

町長 高齢夫婦のご希望に、時間もいただき、丁寧な対応をしていく。

建設 高齢夫婦が入れるように長寿命化計画を見直ししていく。既存の空き家がある。そういった民間アパート等の活用もしっかり考えていく。



ミニ花火大会



緑ヶ丘町営住宅



広瀬 とし子（ひろせ とし子）

高浜児童センターについて

回答：西嶋町長

高浜児童センターにおいては、廃止する方向を示した。

問 老朽化が進み、解体の方向であると聞いた。以前にも一般質問をし、議会で視察に行くと、壁・畳・網戸が破れている状態であった。

児童にとっても環境が悪い。

今回できた「いぶき」を利用する児童が増えている。解体後の計画をどのように考えているのか。

こども 高浜児童センターは昭和62年に整備され、これまで地域の子どもたちの遊び場や交流の場として利用されてきた。

40年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後も継続して利用していくためには、大規模な改修や設備更新が必要な時期を迎えている。



高浜児童センター

解体後の跡地利用については、現時点で方針を決定していない。

今後、町全体のまちづくりや駅周辺の整備計画について検討していく。

◆不登校の児童について

問 不登校の児童・生徒が増加する中、当町ではどのような支援を行っているのか。

また、学びの場や居場所の確保について、今後どのように取り組むのか。

町内に新たに練習場を整備する考えはないか。

教育 学校における支援体制として、各小・中学校に相談員を配置し、児童・生徒が抱えている日常的な不安や悩みに寄り添いながら、安心して相談できる環境を整えている。

さらに、県が配置するスクールカウンセラーが定期的に各学校を巡回し、児童・生徒、そして保護者からの相談にも対応している。



発行日：令和8年10月23日（金）

※総政…総合政策課長　総務…総務課長　産振…産業振興課長　こども…こども未来課長
教育…教育委員会事務局長　防災…防災安全課長　建設…建設整備課長



松岡 茂和（まつおか しげかず）

高浜町の危機管理体制はできているのか

回答：西嶋町長

計画に基づいてしっかりと速やかに対応していきたい。

問 能登半島地震の教訓を防災対策に活かすため、アンケートを取られたが、取り組みの実施状況は。

防災 456件の意見を分析・検証した。その結果を踏まえ、防災アプリの導入や防災情報の集約化、備蓄物資の見直しなど、18事業に着手、または完了した。本年度は防災拠点倉庫の整備等、防災力の向上を図る。

問 原子力災害と一般災害の複合災害対策訓練は。

防災 避難手順や情報伝達、関係機関の連絡体制を継続的に検証している。本年度、内浦地区の土砂災害による孤立を想定した避難訓練が予定されている。

問 高齢者一人暮らし世帯への冷暖房器具支援事業の利用状況と熱中症予防対策は。

防災 累計21件、本年2件設置した。熱中症予防対策は、民生委員、社協、事業者が連携し、状況を把握し、必要があれば設置できるようにしている。

問 地震時の倒壊家屋の火災発生の多くは、通電している電気系統からの延焼が原因。この防止策として、配電盤の電源が震度5で自動停止する感震ブレーカーを販売しているが、火災延焼防止のため全世帯に設置してはどうか。

防災 感震ブレーカーが通電火災防止に有効であることは認識しているが、町の自主防災組織活動補助金の家庭防災機能向上事業を、各自主防災組織で必要性を検討していただく中で活用されたい。

町長 非常に有効だ。全町民対象は当然と考える。（釣本議員の賢明な財源の使い方の一般質問での答弁）

◆児童センター廃止による児童の居場所づくり

問 高浜児童センター設置の条例廃止理由に、施設の老朽化と福祉施設いぶきと高浜公園ソラノワを施設というが、児童福祉法による児童センターの法的位置づけをどうとらえているのか。

こども 高浜町の児童センターは、認可された児童厚生施設ではないが、公民館、いぶき、ソラノワなど、町内に居場所、遊び場ができている。地域全体で子どもの育成を図る。



上尾 徳郎（うわお とくろう）

「後期実施計画」将来を見据えた持続可能な財政計画を

回答：西嶋町長

先人達の努力によって財政は安定しており、それを基礎に国の支援を取りながら計画的に進める。

問 「後期実施計画」道路・交通分野の推移状況は。
①国事業の青葉トンネル改良事業。
②県事業のシンボルロード・シーサイドライン整備事業。

建設 ①令和3年度事業化され全体の事業費100億円のうち約5%の事業進捗率であり、測量・設計及び地質調査など順次実施中。

②シンボルロードは、県が事業化に必要な用地取得調査を進め、物件調査や学校関連施設の補償に係る協議中。

シーサイドは、県との協議により概略設計策定を町が実施することから、設計業務を発注しルートや構造形式の検討を進めている。

両事業は町の中心市街地活性化に資する事業であり、住民の理解を得る対応に努める。

問 町道島ノ内京ケ鼻線（高小北道路～宮ノ内線）の整備計画の概要は。

建設 2車線道路と南側の片側歩道として全幅9mの道路整備。令和7年度事業着手、令和12年度事業完了を目標に現在、詳細設計を進め関係機関との協議・調整を行い、着実な事業推進に努める。

問 「後期実施計画」内での、庁舎・公民館周辺道路改良事業の路線整備計画は。

建設 この計画は主軸の計画に位置付け、町道宇治線、大西線、昭和通線の道路両側の歩道と無電柱化を行う計画。現在、シンボルロードとの接続、取り付け部分や無電柱化の調査設計業務を進めている。

今年度、高浜町道路整備プログラムの策定を進めており、町民の意見を聞きながら今後の道路整備を効率的・効果的に進めたい。



町道島ノ内京ケ鼻線

※防災…防災安全課長　こども…こども未来課長　建設…建設整備課長　産振…産業振興課長　総政…総合政策課長　総務…総務産業課長



釣本 音次（つりもと おとじ）

青の松原の良さを名所と経済発展につなげ

回答：西嶋町長

青の松原の景観を良くする必要はある。

問 決断すればスピーディーに実行する町長が、青の松原の清掃を来年の夏までに出来ないのか。

町長 薗部や地域と相談して松原を綺麗にしていく。

問 松原の通年利用策としてキャンプを又、毎年浜茶屋の建て壊しはコスト負担と労力の無駄。で浜茶屋の建物も通年化すべき。浜茶屋の近くに駐車場があれば収益につながるが(写真1、2、3参照)



現状



砂浜清掃（生成AI）



駐車場（生成AI）

産振 浜茶屋の通年化は事業者に聞いて決める。砂浜の駐車場は県との協議が必要だがクリア可能。

問 上道に大型バスを通行させたいが。

産振 現状では道路拡幅で困難。

建設 現状でも一方通行にすれば可能。

問 (そうだ)一方通行の標識に自転車は除外を記入すればOKで車は上道と下道間の脇道を通行すればよいが。

産振 公安委員会のクリアが必要。

◆賢明な財源の使い方

問 賢明な財源の使途は、町長の腕の見せ所で政治のカナメだ。生き金にして町民を豊にそして安全、安心な高浜町する責務があるが町長の考えを聞く。

町長 町民の目線に立って行う。

総務 歳入も令和8年から令和10年をピークに減っていき健全財政と住民サービスの向上に努める。



高浜町ファイト

第２回 政治倫理調査特別委員会の概要

第2回委員会では、4月14日に発生した釣本議員による事業所駐車場でのタイヤ交換事案について、これまでの経緯を確認するとともに、本人への聞き取り調査を行った。

釣本議員は、駐車場でタイヤ交換を行った事実を認め、「当時は利用できると考えていたが、現在は適切ではなかったと認識している」と説明した。

一方、事業所側が報告した「議員であることを示して威圧的な発言をした」などの具体的な発言については、全面的に否定した。

委員からは、なぜ駐車場でタイヤ交換をしたのか、注意を受けた後も作業を続けた理由、議員という立場を示した対応がなかったかなどについて質問があった。

今後は、事業所側と釣本議員の説明に食い違いがあることから、関係者の証言や資料、行政機関・民間事業者への調査結果などを総合的に検討し、政治倫理条例上の問題があったかどうかを事実認定していくこととなった。

（阪本新也）

第２回政倫審議事概要　民間事業者回答

釣本議員回答①　釣本議員回答②



六ケ所再処理工場の竣工と核燃料サイクル確立への取り組みを確認

原子力対策特別委員会　委員長 上尾徳郎



◆高浜発電所の現況

説明者　高浜発電所長

1号機、2号機、4号機が稼働中。

3号機は、4月に定期検査に入り蒸気発生器の取替工事を進め、現在、据え付けを終え取替えに伴い一時的に移設した干渉物の復旧等を行っており、11月上旬の発電予定。今後、4号機も11月中旬に定期検査に入り蒸気発生器の取替えを行う。1号機は12月中旬に定期検査に入る予定。

◆再処理工場の竣工が遅延した場合の対応

説明者　原子力事業本部原子燃料部長

■福井県・資源エネルギー庁への報告

溶液・廃液の試験的処理を竣工前から行い、期間の短縮を図る。

再処理実証研究で検討の100トン分は今後、搬出する300トンに続いて搬出し、当面の搬出量には大きな影響はない。

■実効性のあるロードマップの提示

竣工の遅れが明らかになれば、使用済燃料を県外に継続的・安定的に搬出が見通せる「実効性のあるロードマップ」を速やかに示す。

日本原燃の「実効性の高い工程」を見極めたうえで、必要な搬出容量確保に取り組み、貯蔵容量の推移見通しを定量的に示す。

■貯蔵容量を増加しない考え方

乾式貯蔵施設は、中間貯蔵施設への円滑な搬出までの間、電源を使用せず安全性の高い方式で使用済燃料を保管する施設。

乾式貯蔵施設に移し替えることで空いた貯蔵プールのスペースは原則使わない。

■質疑・要請内容

・むつ市中間貯蔵施設活用について
・中間貯蔵施設と使用済燃料プールの課題
・日本原燃への職員派遣について

◆核燃料サイクル確立に向けた取り組み

説明者　原子力立地政策室長

核燃サイクルは国の一貫した基本的方針のもと原子力発電を安定的に利用し、関係自治体や国際社会の理解を得つつ推進することが重要である。

■六ヶ所再処理工場・MOX燃料工場の竣工に向けた取り組み

再稼働審査経験者の派遣の取り組みを通じ、審査会合で審査説明を終了。

「使用済み核燃料対策推進協会」へ審査状況の報告に加え溶液・廃液の試験的処理を、竣工前から開始の方針を、規制当局と議論する旨の説明があった。国としては、全事連に対し、機動的な調整について最大限の協力を要請。

■新規制基準への対応

審査説明終了を受け、規制委員会から「大きな論点はない」との見解が示され新規制基準に適合する設計が固まったところ。竣工に向け「補正申請」の作業「保安規定」認可に向けた対応、各設備の「仕事」「検査」を実施。

地震・竜巻などへの対策の抜本的強化のための工事や重大事故に対応の重機など配備等実施。

■原子力利用に伴う課題解決に向けた、知事への協力要請

立地地域の声として、再稼働の意義やバックエンド問題の重要性について電力消費地の理解を求める等の指摘の声を踏まえ、経済産業大臣より全国の都道府県知事に対し、原子力利用に伴う課題解決に向けた協力依頼のレターを発出。

■質疑・要請内容

・新制度での60年超運転の可能性
・共創会議でのデータセンター誘致
・共創会議の在り方と国民理解
・立地の将来を見据えたリプレース
・核燃サイクルのプルサーマルについて



高浜町議会　議会の動き 令和8年7月～9月



高浜町議会 主な行事・活動記録

※1【県原協】福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会
※2【関原協】関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会

7月

- 2日(木)　広報特別委員会
- 2日(木)　県原協理事会
- 2日(木)　関原協理事会
- 3日(金)　福井県町村議会議長会 臨時総会
- 3日(金)　若狭消防組合議会　臨時会
- 6日(月)　議会運営委員会
- 6日(月)　「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式
- 6日(月)　7月臨時会議案事前説明
- 6日(月)　「乾式貯蔵施設設置計画に関する取り組みについて」町長へ申し入れ
- 8日(水)　広報特別委員会
- 8日(水)　福井県消防操法大会出場に伴う選手激励会
- 9日(木)～10日(金)　議会運営委員会視察研修
- 10日(金)　高浜町防犯隊夏期パトロール出発式
- 11日(土)　高浜町海水浴海開き式典
- 11日(土)　高浜消防団新旧幹部引継会
- 13日(月)　議会運営委員会（議案確認）
- 13日(月)　全員協議会（臨時会前）
- 13日(月)　7月臨時会
- 14日(火)　福井県市町総合事務組合 臨時議会
- 15日(水)　厚生文教常任委員会
- 15日(水)　人口減少課題対策特別委員会
- 18日(土)　福井県消防操法大会出場に伴う応援および報告会
- 22日(水)　若狭地方町村監査委員連絡協議会 総会
- 23日(木)　全国原子力発電所立地市町村議会議長会 総会・意見交換会
- 23日(木)～24日(金)　町村議会議会事務局職員研修会
- 24日(金)　【県原協】核燃料税及び核燃料税交付金に関する要請書提出
- 28日(火)　例月出納検査
- 28日(火)　議会運営委員会
- 30日(木)　若狭地方町村議会議長会 視察研修
- 30日(木)　知事要望（町要望）
- 30日(木)　嶺南振興局との行政懇談会
- 31日(金)　嶺南市町議長会　定例会

8月

- 1日(土)　若狭高浜花火大会
- 5日(水)　北陸新幹線建設促進大会
- 5日(水)　決算審査
- 6日(木)　議会運営委員会（定例会1カ月前）
- 6日(木)　議員政治倫理調査特別委員会
- 7日(金)　関電　安全の日の誓い
- 7日(金)　福井県町村議会議長会 知事要望
- 13日(木)　JCHO若狭高浜病院地域協議会
- 17日(月)　人口減少課題対策特別委員会
- 17日(月)　三重県東員町議会行政視察
- 18日(火)　厚生文教常任委員会
- 19日(水)　全員協議会
- 20日(木)　例月出納検査
- 21日(金)　福井県町村議会議長会 町議会議員研修
- 22日(土)　福井県戦没者追悼式
- 25日(火)　県原協総会
- 25日(火)　関原協総会
- 26日(水)　若狭広域行政事務組合 決算審査および現金出納検査
- 26日(水)～28日(金)　9月定例会議案事前説明
- 27日(木)　議会運営委員会（定例会5日前）

9月

- 1日(火)～17日(木)　9月定例会
- 3日(木)　議会運営委員会
- 4日(金)　福井県市町文協選抜美術展開場式
- 6日(日)　高浜公園ソラノワ　開園記念式典
- 12日(土)　高浜町戦没者追悼式
- 19日(土)　高浜小学校　校内体育大会
- 20日(日)　和田地区町民体育大会
- 20日(日)　高浜地区敬老会
- 20日(日)　青郷地区敬老会
- 24日(木)　議員の出前懇談会
- 25日(金)　議長・副議長研修会
- 26日(土)　高浜町老人クラブ連合会スポーツ大会
- 29日(火)　例月出納検査

令和8年 12月定例会

※赤字はTV中継あり
※会議日程は変更になる場合があります

日-SUN-	月-MON-	火-TUE-	水-WED-	木-THU-	金-FRI-	土-SAT-
11/29	30	12/1 10:00 本会議 (初日)	2	3 9:00 予算決算	4 9:00 予算決算	5
6	7 9:00 総務産業	8 9:00 厚生文教	9 9:00 原子力 13:30 広報	10 9:00 人口減少	11	12
13	14 9:00 本会議 一般質問	15 9:00 本会議 一般質問	16	17 13:30 本会議 (最終日)	18	19

議会報告会の開催について



住民対話型議会報告会を次の日程のとおり町内4ヶ所で開催します。
議会報告会は、我々議会の活動を町民の皆様にご報告させていただく場として開催いたしますので、普段疑問に思っていることや皆様のご意見・ご要望もお聞かせください。お待ちしております。

実施日時	会　場		出席議員
11月27日（金） 19時～20時30分	①高浜	高浜町地域福祉総合センター いぶき　1階多目的ホール	廣瀬、上尾、釣本、松岡
	②青郷	青郷公民館　1階研修室	井上順、西野、阪本
11月28日（土） 13時30分～15時	③和田	和田公民館　2階研修室	小幡、大塚、井上聡
	④内浦	内浦公民館　1階研修室	磯部、井ノ元、河島

※高浜地区の方が、和田公民館に来ていただいても結構です。都合のつく日時・場所へご来場ください。

編集後記

議会でどんなことが話し合われているのか、町のこれからはどうなっていくのか。

そんな議会の様子を、少しでも身近に感じてもらえたらと思いながら、今回も編集委員で楽しく紙面づくりに取り組みました。

難しそうに感じる議会の話も、できるだけ分かりやすく、読みやすくお伝えしています。

ページをめくりながら、「こんなことが話し合われているんだ」と気軽に読んでいただけたらうれしいです。

これからも皆さんに親しんでもらえる議会だよりを目指していきます。



（西野朋宏）

広報特別委員会　委員長：西野朋広　副委員長：松岡茂和　委員：上尾徳郎・磯部武史・小幡憲仁・釣本音次